



自己改革の実践!

自己改革

—JAくろべの取り組み(令和6年度)—

JAくろべでは、魅力ある地域の農業や暮らしを支えるJAであり続けるため、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標を柱に不断の自己改革に取り組んでいます。ここではその内容の一部をご紹介します。
自己改革の実践には、組合員の皆様の声が必要です。取り組みに対して、皆様の声をお聴かせください。

農業者の所得増大

農業生産の拡大

◆訪問活動や農事懇談会等を通じた「担い手との対話」

◆高品質な良質米の安定生産と計画販売

目標:生産面積 1,505ha
全うるち米一等比率 95%以上 良質味米 15%以上

◆ねぎの品質及び単収向上

目標:出荷量 270t

◆農林水産物直売所「瑞彩マルシェ」出荷者組合員数の増加

目標:出荷者組合員数 300名

◆野菜移植機の貸出

歩行型1条半自動野菜移植機2台
(対応作物:キャベツや白菜などの葉茎菜類)
※詳細については営農センターへお問い合わせください(☎52-5615)

◆肥料工場直送の取扱拡大を通じたコスト低減

目標:取扱量 160t



野菜移植機の貸出



栽培研修会



農林水産物直売所「瑞彩マルシェ」

地域の活性化

◆食農教育として農業体験学習の継続実施

実施数 学校田:8カ所 バケツ稲作等:3カ所

◆農業祭などの協同活動の継続実施



©よい食P



第8回 農業祭



農業体験学習(学習田)

